



本気

春日部市立正善小学校

学校だより12月号

平成29年度 No.9

一人一人の瞳が輝き、磨き合い・高め合いながら、伸びる喜びを味わえる学校

今後生きて働く力を

校長 大森正樹

今年も残すところあと1ヶ月となりました。日々寒さが増してきて、いよいよ冬到来かなと感じさせられます。そんな中、先月21日の持久走大会では、天候にも恵まれ、子どもたちは個々の目標に向かって、元気に走りきってくれました。たくさんの方に、子どもたちへ温かな声援を送っていただき、またPTA役員さんには子どもたちの安全確保に伴う運営のご協力をいただきました事、改めて感謝いたします。

持久走大会に限らず、大きな行事の続いた2学期でしたが、子どもたちはひとつひとつに、目標を持って取り組むことで、着実にたくましくなっているなど感心させられます。子どもたちの成長って本当に素晴らしいものです。我が子となると、良さを見落としがちですが、是非、今年の成長を認めてあげてください。

さて、子供たちが成人して社会で活躍する頃に必要な力を検討し、何を教えるかの基本となる新たな学習指導要領が今年3月に公布されました。これにより、来年度から学習の中身の一部移行がはじまり、東京オリンピックの開催される2020年4月に全面実施されることとなります。改訂の背景として、子どもたちが成人する頃には、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化するなど予測が困難な時代となり、我が国は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想されています。その上で、学校教育には、子供たちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め、知識の概念的な理解を実現し情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようにすることを求めています。そして、求められる力を身につけさせるためには、学校の教育活動を通して、「主体的・対話的で深い学び」を実現することが大切としています。

持久走大会で、苦しさにも耐えながら完走した子どもたちを応援していて、目標に向け「本気・全力」で努力する、正善魂が根付いているなど感じます。また、様々な学習の中でグループ学習が行われ、友だちの意見を聞き、自分の意見を主張しながら協調していく素地も身につけ始めています。

今後も、子どもたちが大人になった時に、より生きて働く力が培われるよう、準備と改善に努めてまいりますので、ご理解くださるとともに、ご支援・ご協力をお願いいたします。



1・2年生の研究授業の様子です。「なぜ、そう考えたのか。」という理由を明確にしなが、グループで考え、全体にひろめていきます。

11月の正善小学校…〇〇の秋。子ども達は様々な場面で力を発揮しました。

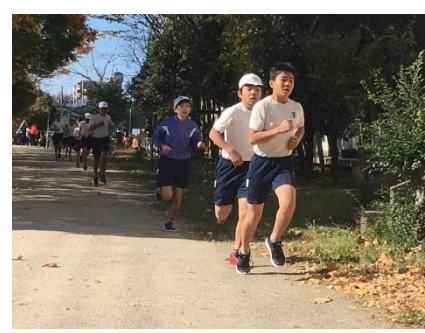
♪土曜公開・校内音楽会♪学校評議員会♪

11月11日（土）に土曜公開が行われました。2校時は公開授業、3、4校時は校内音楽会でした。保護者や地域の大勢の方々にお越しいただき、子どもたちの様子を御参観いただきました。同日に学校評議員会も開催し、正善小学校の良いところや改善するともっと良くなる場所、学校の歴史等のお話をいただきました。たくさんの方々に御来校いただき、本当にありがとうございました。



校内持久走大会…ゴールを目指し、本気・全力で走りました！！

11月21日（火）に校内持久走大会が行われました。初めて走る1年生から小学校生活最後となる6年生まで、自分のめあての達成に向けて本気・全力で、力いっぱい走りました。走った後の子どもたちの顔は、輝いて見えました。たくさんの保護者の方々から大きな声援をいただきました。ありがとうございました。



合同遠足

11月6日（月）に、ひまわり学級の児童は東武動物公園へ合同遠足に行ってきました。他の小学校の児童と一緒にいろんな動物を見たり、お弁当を食べたりして、楽しく一日を過ごしました。



市内音楽会

11月2日（木）に学校の代表として、5年1組が出場し「ひろい世界で」を心を込めて歌いました。



ありがとう集会

11月16日（木）にお世話になっている方々をお招きし、歌や手紙のプレゼントをしました。

